

平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場会社名 シグマ光機株式会社
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 リョウジ
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菊池 健夫
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 平成26年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 03-5638-8221

平成26年2月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	3,231	9.5	148	61.0	212	71.7	116	31.4
25年5月期第2四半期	2,951	△12.5	92	△64.7	123	△61.8	88	△49.8

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 192百万円 (708.1%) 25年5月期第2四半期 23百万円 (△78.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	15.49	—
25年5月期第2四半期	11.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	13,177	10,989	83.1	1,454.12
25年5月期	12,873	10,910	84.5	1,443.82

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 10,953百万円 25年5月期 10,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	15.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,130	15.2	380	113.4	510	81.8	275	104.2	36.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	7,811,728 株	25年5月期	7,811,728 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	279,328 株	25年5月期	279,328 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	7,532,400 株	25年5月期2Q	7,532,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済におきましては、米国経済は個人消費の増加、住宅市場の回復と雇用情勢の改善による緩やかな成長が見られますが、欧州経済では各国の緊縮財政の影響による景気の低迷の長期化、中国経済では金融システムの懸念とともに内需や輸出の伸び悩みによる成長鈍化等により景気の停滞感が広がりました。わが国経済におきましては、日銀の異次元金融緩和策、政府による大規模な財政出動や成長戦略に対する期待感から、円安基調・株価上昇による輸出の改善や個人消費の拡大等、景気は徐々に回復基調を辿りつつありますが、実体経済の本格的な回復までには至りませんでした。

当社グループにおいては、大学・独立行政法人向け研究開発分野では期初には研究開発予算の執行に緩慢な動きが見られましたが、上期後半に需要の増加傾向が見られた結果、光学要素部品や光学ユニット製品の需要は堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、携帯端末市場に関連する半導体・電子部品業界やモバイル用FPD業界における需要も堅調に推移し、バイオ業界や医療業界向けの光学要素部品や防衛産業分野向けの光学システム製品の需要が増加いたしました。しかしながら、国内産業の海外移転や海外競合メーカーとの競争激化等、依然として厳しい経営環境は続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「お客様の欲しさを形に」活動によるカタログ製品のブラッシュアップ、中核技術である光学設計及び光学研磨・薄膜技術の高度化、対物レンズ等の高付加価値製品の開発・市場投入、ユニット製品化による容易なシステムアップ提案、適正な品質・価格・納期による顧客満足度の向上に注力いたしました。また、生産の効率化、購買機能の強化等による生産コストの削減や全般的な経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32億3千1百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益1億4千8百万円（前年同期比61.0%増）、経常利益2億1千2百万円（前年同期比71.7%増）、四半期純利益は1億1千6百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①要素部品事業

当事業におきましては、大学・独立行政法人向け研究開発分野は期初には研究開発予算の執行に緩慢な動きが見られましたが、上期後半に需要の増加傾向が見られた結果、堅調に推移いたしました。民間向け研究開発分野及び検査・製造装置の組込み用途においては、携帯端末市場に関連する半導体市場やモバイル用FPD市場での設備投資等に回復の兆しが見られる中、手動位置決め製品は価格競争の激化により低調に推移しましたが、レーザ加工機や検査装置への組込み用途やアライメント調整用途での自動位置決め製品及び光学素子製品は横ばいで推移いたしました。又、バイオ業界向けの自動位置決め装置及び、バイオ業界、医療業界、防衛関連業界向けの光学素子製品は堅調に推移いたしました。通信業界向けの光学素子製品が低調に推移しました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は27億4千8百万円（前年同期比4.5%増）となり、営業利益は4億4百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

②システム製品事業

当事業におきましては、バイオ業界における基礎研究から商用化への流れの中で、大学・独立行政法人向け研究分野及び民間向け生物・医療・バイオ関連製品の需要が増加しております。民間向け研究開発分野は、光学ユニット製品及び光学測定装置と観察光学系システム製品の需要は横ばいで推移しております。民間向け産業分野での検査・製造装置の組込み用途については、防衛関連業界向けは引き続き堅調に推移いたしました。又、携帯端末市場に関連する半導体市場向け検査装置用ユニット製品やモバイル用FPD市場向けレーザ加工機用ユニット製品等の需要についても回復の兆しが見えております。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は4億8千4百万円（前年同期比49.9%増）となり、営業損失は5千6百万円（前年同期は営業損失1億3千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、64億8千7百万円となりました。これは、有価証券が3億1千万円増加し、たな卸資産が5千3百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、66億9千万円となりました。これは、投資有価証券が3千万円増加し、機械装置及び運搬具が6千万円、建物及び構築物が4千1百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、131億7千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.4%増加し、13億3千8百万円となりました。これは、未払法人税等が1億1千3百万円、短期借入金が3千7百万円それぞれ増加し、受注損失引当金が1千1百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.8%増加し、8億4千8百万円となりました。これは、長期借入金が8千7百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて11.5%増加し、21億8千7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、109億8千9百万円となりました。

自己資本比率は、83.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,942,187	2,056,136
受取手形及び売掛金	1,813,056	1,859,653
有価証券	314,824	625,451
商品及び製品	973,469	845,391
仕掛品	160,428	177,308
原材料及び貯蔵品	687,040	745,102
繰延税金資産	92,521	117,787
その他	91,690	64,926
貸倒引当金	△5,294	△4,440
流動資産合計	6,069,924	6,487,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,144,545	1,102,702
機械装置及び運搬具（純額）	592,319	531,967
土地	1,325,577	1,325,577
その他（純額）	101,952	104,288
有形固定資産合計	3,164,395	3,064,537
無形固定資産		
その他	253,816	255,805
無形固定資産合計	253,816	255,805
投資その他の資産		
投資有価証券	450,674	481,074
繰延税金資産	147,750	139,377
投資不動産（純額）	2,214,998	2,181,927
その他	591,926	587,924
貸倒引当金	△20,342	△20,592
投資その他の資産合計	3,385,007	3,369,711
固定資産合計	6,803,219	6,690,053
資産合計	12,873,144	13,177,370

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,023	652,699
短期借入金	185,000	222,000
未払法人税等	7,406	121,021
役員賞与引当金	6,500	—
賞与引当金	1,334	2,308
受注損失引当金	15,307	3,402
その他	358,615	337,260
流動負債合計	1,223,187	1,338,692
固定負債		
長期借入金	93,000	180,000
退職給付引当金	383,874	401,792
役員退職慰労引当金	172,584	177,180
その他	89,787	89,943
固定負債合計	739,246	848,916
負債合計	1,962,434	2,187,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,412,128	5,415,821
自己株式	△204,052	△204,052
株主資本合計	10,923,577	10,927,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,082	37,972
為替換算調整勘定	△69,208	△12,193
その他の包括利益累計額合計	△48,125	25,779
少数株主持分	35,257	36,710
純資産合計	10,910,709	10,989,761
負債純資産合計	12,873,144	13,177,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	2,951,271	3,231,534
売上原価	1,944,677	2,050,298
売上総利益	1,006,593	1,181,235
販売費及び一般管理費	914,381	1,032,804
営業利益	92,212	148,430
営業外収益		
受取利息	2,035	2,304
受取配当金	1,457	1,642
不動産賃貸料	88,872	87,839
その他	10,820	18,481
営業外収益合計	103,187	110,268
営業外費用		
支払利息	1,662	1,827
不動産賃貸費用	57,958	42,867
その他	11,944	1,418
営業外費用合計	71,566	46,113
経常利益	123,834	212,586
特別利益		
固定資産売却益	128	2,350
補助金収入	—	12,397
特別利益合計	128	14,747
特別損失		
固定資産売却損	423	60
固定資産圧縮損	—	12,397
減損損失	3,581	—
特別損失合計	4,005	12,457
税金等調整前四半期純利益	119,957	214,876
法人税、住民税及び事業税	52,295	123,281
法人税等調整額	△20,852	△24,562
法人税等合計	31,442	98,718
少数株主損益調整前四半期純利益	88,514	116,157
少数株主損失(△)	△311	△522
四半期純利益	88,826	116,679

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88,514	116,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,014	16,889
為替換算調整勘定	△63,736	58,990
その他の包括利益合計	△64,751	75,880
四半期包括利益	23,763	192,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,806	190,584
少数株主に係る四半期包括利益	△2,043	1,453

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	119,957	214,876
減価償却費	183,208	210,361
減損損失	3,581	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△402	△663
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,000	△6,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,004	17,917
受取利息及び受取配当金	△3,493	△3,947
支払利息	1,662	1,827
補助金収入	—	△12,397
固定資産圧縮損	—	12,397
売上債権の増減額(△は増加)	205,948	△40,611
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,375	66,055
仕入債務の増減額(△は減少)	△191,552	△2,322
未払又は未収消費税等の増減額	△32,085	37,517
その他	△27,837	△37,633
小計	215,617	456,877
利息及び配当金の受取額	3,359	3,546
利息の支払額	△1,581	△1,983
法人税等の還付額	—	65,727
法人税等の支払額	△118,459	△41,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,935	482,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,878	△144,884
定期預金の払戻による収入	24,870	144,878
有価証券の純増減額(△は増加)	△300,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△94,620	△78,743
有形固定資産の売却による収入	603	500
無形固定資産の取得による支出	△63,215	△30,381
投資不動産の取得による支出	△4,013	—
投資不動産の売却による収入	—	12,000
その他	—	3,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461,253	△392,863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,750,000	2,250,000
短期借入金の返済による支出	△1,750,000	△2,250,000
長期借入れによる収入	150,000	225,000
長期借入金の返済による支出	△90,000	△101,000
配当金の支払額	△127,592	△112,617
その他	△390	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,983	11,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,929	23,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△453,230	124,569
現金及び現金同等物の期首残高	2,155,883	1,660,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,702,652	1,784,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,628,600	322,670	2,951,271	—	2,951,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	221	522	743	(743)	—
計	2,628,822	323,193	2,952,015	(743)	2,951,271
セグメント利益(又は損失)	442,978	(134,119)	308,858	(216,646)	92,212

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△743千円、全社費用△215,902千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない売却予定の投資不動産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,581千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,748,187	483,347	3,231,534	—	3,231,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	170	1,076	1,247	(1,247)	—
計	2,748,358	484,423	3,232,781	(1,247)	3,231,534
セグメント利益(又は損失)	404,807	(56,022)	348,784	(200,353)	148,430

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△1,247千円、全社費用△199,106千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。